

# 今年 10 周年の「 BioFach Japan・オーガニック EXPO」

農水省「有機農業による農産物マッチングパビリオン」も初開催！

報道関係者各位

ニュルンベルクメッセ(日本代表部:東京都新宿区 代表 ハインツ・W・クールマン)は、9月21~23日に東京ビッグサイト東4ホールで、10回目の「BioFach Japan( BioFach・ジャパン) オーガニック EXPO」を開催します。

国内外の有機農産物市場の拡大を目的に、200を超える出展社が一堂に会します。

10回目の今年も、農林水産省が推進する「産地収益力向上支援事業」の一環として初の有機農業による農産物のマッチングフェアがオーガニック EXPO を舞台に開催されることになりました。

## 幅広い分野のオーガニック・ナチュラル分野の出展者が集います

ドイツで1990年以来、毎年開催されている世界最大の有機専門見本市「 BioFach」が海外で最初に開催したのは「 BioFach Japan・オーガニック EXPO」で、2001年のことでした。ちょうどその年に、日本では有機 JAS法が施行されたのでした。以来、日本の有機農産物の市場の進展と共に歩んできました。

10年目の本年は、「オーガニックの傘が広がります！」をモットーに、衣・食・住をカバーし、トータルなオーガニックライフスタイルを提案できる形態となりました。オーガニック EXPO を3つのゾーン(オーガニック・フードギャラリー、オーガニックコットン・ストリート、ウェルネス・パーラー)に分け、ここに入らない、住宅関連も含むナチュラルやエコ製品・非有機製品のための「ナチュラル&エコ・プラザ」を新たに設けました。

**衣:** オーガニック認証原綿を使用したコットン製品をメインに、シルクや竹布、フェアトレードのナチュラル繊維製品を紹介する出展者が昨年(12社 15小間)を大幅に超えて集います。出展者であるオーガニックコットン流通機構が素材を提供し、織田学園の生徒たちが制作した環境に配慮したファッションの「エシカルファッションショー」の企画もあります。セミナーにはファッションジャーナリストの生駒芳子氏をファシリテータにしたり、オーガニックコットンを切り口にして、より社会性をもった内容のものなどを予定。ソーシャルビジネス関係の方、これから目指す方にとっても興味深いものとなるでしょう。

**食:** 日本、韓国、メキシコ、フランス、イタリア、オーストリア、オーストラリアなど国別のグループスタンドはじめ、島根県もグループスタンドに出展。また、日本各地、ドバイ、インド、イラン、パレスチナ等からの個別出展者の、認証済み食品はオーガニック・フードギャラリーに、有機表示を付けていないものもある場合はナチュラル&エコ・プラザに参加します。

農水省のマッチングパビリオンは、有機 JAS を条件としないのでナチュラル&エコ・プラザで展開します。農水省の参加で日本の出展者が大幅に増加、昨年注目を集めたフードコートもさらに大きくなります。

**住:** 人と環境にやさしい住宅・建材分野の出展者が10社ほど集まりましたので、エコ・プラザにまとめて展示します。2002/3年の第2/3回目「自然の恵みフェア」の時代に提案した「有機空間」を、これからさらに浸透させるべく出展基準書を整備し、セミナーで解説します。オーガニックホテルに関し、一步進んだ欧州オーストリアのアドバイザーのセミナーも開催。人を包む「住」部門は、業者・消費者の関心を高めていきたいこれからの分野です。

もちろん、ウェルネス・パーラーでの化粧品も健在です。今年は、新顔出展者が増え、認証を取った日本製コスメも出てきました。フランスとオーストラリアからも出展者があります。自然化粧品認証の草分け、ドイツのBDIH(ドイツ化粧品医薬品商工連盟)が情報ブースを出し、セミナーを開催するのも、日本初です。セミナーには、すでに日本で認証活動を展開しているエコサートも参加します。多彩で興味深いオーガニック・ナチュラルのペット用品も注目されるでしょう。

### **オーガニック EXPO に農水省のパビリオンが初めて実現！**

農林水産省は2020年までに有機農産物の市場を倍増することを目標に掲げ、本年は有機農業の「産地収益力向上支援事業」の一環として「有機農産物のマッチングフェア事業」を公募し、「オーガニック EXPO」で開催されることとなりました。

販路拡大を希望する全国20か所以上の、産地収益力向上支援事業実施地区の農業者が参加し、「オーガニック EXPO・ナチュラル&エコ・プラザ」内に設けられた「農産物マッチングパビリオン」で生産物を展示・紹介しながら卸・小売、流通、外食事業者など実需者と商談を行います。

マッチングフェアに付随して充実した特別セミナーも3日間にわたり毎日1本ずつ開催いたします。初日はオーガニック市場(有機農産物)の総合調査を行う「OMR プロジェクト(ORGANIC MARKET RESEARCH PROJECT)」代表の徳江倫明氏による日本初の大掛かりな有機市場調査報告のセミナーです。2日目にはマッチングパビリオン協議会委員が参加するパネルディスカッションを予定。協議会コーディネータ大和田順子氏をファシリテータとして、生産と販売の現場の生の声を聞き、有機ビジネスの今後への展望を探ります。日本の有機農業の応援団の一人として、こだわりの農法に造詣の深い俳優藤岡弘さんも駆けつける予定です。

### **さながらオーガニック大学！**

「さながらオーガニック大学！」というスローガンで本年はとりわけ、有機農業、オーガニックコットン、オーガニック・ナチュラルコスメなどの広範なセミナーを数多く予定(参考資料をご参照ください)。

閉塞感のある日本経済の中で、これを打破するものとし環境やソーシャルビジネスが注目されています。今年は最終日が祝日で一般消費者も多く入場します。消費者の動向をつぶさに見ることができるのも今年の特徴といえます。ビジネスマンの情報収集にとっても有意義な日といえるでしょう。にオーガニック EXPO に入場する一般消費者・プロシューマーは問題意識が高いと、出展者も太鼓判を押します。ですから、ビジネスにとって、今年の9月21日から23日までの3日間は、息の抜けない、中身の濃いイベントとなるでしょう！

初日9月21日(水)の10:30~11:30は記者発表です。是非ご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは

BioFach Japan オーガニック EXPO 事務局 ABC エンタープライズ(株)内 担当：中村

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7-210

Tel: 03-5369-6788 Fax: 03-5369-7759 E-mail: biofach@abcprizes.jp